

島根県立体育館

—— これまでのあゆみ

島根県立体育館は、昭和52年に「広く県民のスポーツ振興を通じ健康増進と体力向上を図り、併せて県民の心の交流と福祉の増進に寄与すること」を目的に建設された。多様化、高度化する県民並びに地域住民のニーズや、社会情勢等の変化に的確に対応したサービス提供を行い、長年石見地域におけるスポーツ振興の拠点として、各種スポーツの普及並びに競技力の向上を目指し、公共スポーツ施設としての役割を果たしている。

以来、県民並びに地域住民のスポーツへの実践意欲を高めるため、本県競技団体の協力のもと教室の開設や諸事業に取り組み、県民の皆様のライフステージに応じたスポーツ活動を生涯にわたって親しむことのできる施設として邁進してきた。

また、体操競技を中心とした競技力の向上と普及にも寄与している。

特に、地域の方々が健康で豊かな生活を送るために、幼児から高齢者まで多くの人たちに利用していただけるよ

う、昭和52年の開館当初からスポーツ教室を開設し、スポーツ実践へのきっかけを作り、多くの県民がスポーツを楽しむ場を提供している。

さらに、建設記念行事として、全国にも類を見ない小学校、中学校、高等学校の児童、生徒が一堂に会する総合的な体操競技大会をスタートした。その昔日本体操界の名選手を生み、育んだ浜田の風土と伝統にも支えられ、昭和57年「島根くにびき国体」に向けた上昇の機運がわずかながらも盛り上がりつつあったときだけに、この大会の開催意義は非常に大きいものとなった。

昭和56年からは、家族で各種のスポーツにチャレンジし、親子のふれ合いや健康・体力への関心を一層高め、地域住民相互の連帯感を深める日として「ファミリースポーツの日」を年3回開催している。

平成25年には施設の耐震改修工事を実施し、平成26年4月にリニューアルオープンしている。この工事で、耐震基準への対応による安全と安心性の向上はもとより、誰もが気軽にそして快適に利用できるようユニバーサルデザインの考え方に基づく施設の整備を行い、エレベ



島根県立体育館全景



建設記念体操大会

ター設置等のバリアフリー対応、フィットネスルームの新設、一階受付窓口の設置等一層充実した施設に生まれ変わった。

本施設は、昭和57年に開催された「島根くにびき国体体操競技」の会場として建設されて以来、島根県の体操競技の拠点として、また、石見地域においては大規模な競技会が開催できる唯一の県立施設として、今日まで利用されてきた。その間、当時は門外不出といわれたNHK杯体操競技大会を竣工記念として開催した。またバレーボール、新体操の国際大会、演技会や全日本選手権大会、体操・柔道・卓球のインターハイなど、日ごろの成果を披露する機会となる各種大会が開催され、選手強化や指導者の養成などに幅広く活用されてきた。さらに日ごろの練習場所としても施設を積極的に活用している。



ファミリースポーツの日

—— 現在の状況

令和6年で47回を数える「建設記念島根県体操競技大会」は、青少年の健全育成と本県体操競技の普及・振興に大いに寄与している。年3回開催している「ファミリースポーツの日」は127回を数え、現在も多くの家族の参加があり、スポーツを通して健康、体力を高めるとともにスポーツの楽しさ喜びを実感していただいている。「スポーツ教室」は計28コースを開設し、幼児から80歳代の幅広い世代の参加者を得て、仲間作りや触れ合いの場所として地域のコミュニティの役割も果たしている。その他に10月を「スポーツ推進月間」と定め、無休で開館して各種イベントを開催している。また、地域住民の健康保持増進を目的とした「スポーツ講座」を開催し好評を得ている。

—— これから

本施設は県民の誰もが利用できる公共施設であり、将来にわたって県民のスポーツ活動の基盤として重要な役割を担っている。

利用者に快適で安全なスポーツ施設を目指し、サービスの充実に努め地域住民が気軽にスポーツができる環境を整備し、より多くの県民に利用されるよう努めることで本県スポーツの振興を推し進め、県民の生涯にわたるスポーツライフの促進に寄与していきたい。

今後も、スポーツの「する」「みる」「支える」「知る」拠点となり、ますます県民に「親しまれる体育館」として、新たなレガシーを刻みながら発展していきたい。



ラージボール卓球教室